

# 透光性陶磁器の商品化支援

## 支援先

株式会社造形集団D・O  
アトリエ遊彩, 陶芸工房スワ

### 【支援の背景】

工芸陶磁器業界では景気の落ち込みから陶磁器販売が減少し、新たな特徴を持つ製品開発が望まれている。そのような中で住宅用機器を製作している企業よりインテリアや照明に使える透光性のある陶磁器について技術支援の相談がありました。透光性陶磁器は、昔から骨灰を活用したボーンチャイナや最近では長崎県や滋賀県においても開発がされているが、自社のオリジナル技術を持ちたいとの要望から共同での技術開発による商品化を支援しました。

### 【開発の経緯・支援内容】

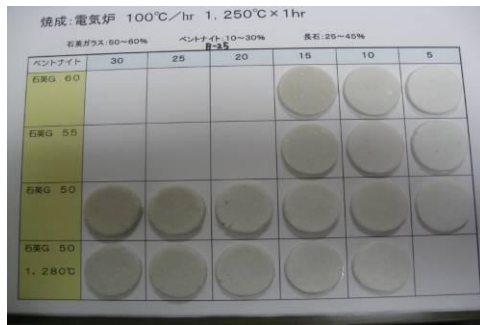


図 1 素地配合試験

開発のねらいとして、住宅用照明やインテリアに利用できる暖かみがあり陶磁器の質感を持つ素地の開発を目指しました。また、鑄込み等の成形が可能で焼成温度 1,250°C で焼成し 3mm で 3% 以上の透光性を持つこととしました。素地を開発するに当たり透光性を得るための配合材料の検討を行い、素地に必要な骨組み、可塑性、焼結性の面から材料を選定し、廃材の石英ガラス、長石、ベントナイト、での配合としました。(図 1) 素地配合試験から透光性を評価し透光性に与える影響を調べ最適な配合条件を決定しました。(図 2)

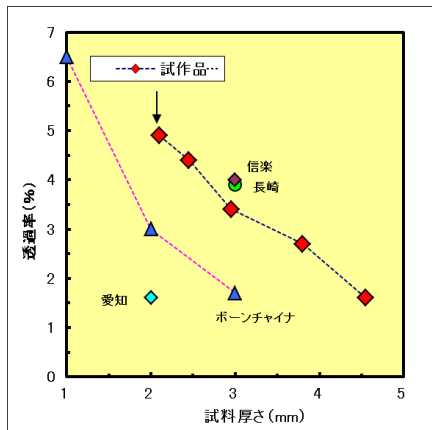


図 2 厚さと透光性の関係

### 【商品化支援の紹介】

株式会社造形集団 D・O 様  
洗面台と照明のセットで販売いたしました。(図 3)  
今後、店舗内装とあわせた商品化など、新たな展開を予定しています。  
○価格 : 仕様による受注生産  
○販売先 : 株式会社棟匠  
○記事掲載: 4/4 茨城新聞 『光を通す笠間焼』

更に透光性陶磁器を活用したインテリア商品に興味を持つ工房に対して商品化支援を行い陶炎祭や個展での販売を行いました。(図 4, 図 5)



図 3 洗面台と照明セット

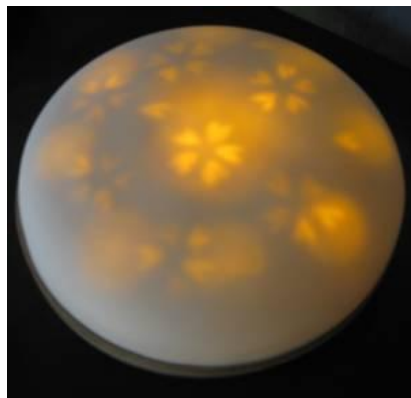


図 4 桜の灯り (アトリエ遊彩)



図 5 アロマポット (陶芸工房スワ)